

気仙沼土木復旧・復興だより

第9号

平成26年4月15日発行 宮城県気仙沼土木事務所



○ 災害復旧事業の進捗状況

- 当所の災害復旧事業の着手率は、平成26年3月末現在で、箇所ベースで約84%
金額ベースで約25%となっています。
- 道路・橋梁施設については、浸水区域以外の道路災害(路面亀裂)箇所の復旧工事が
順調に進捗し、平成25年度内に概ね完了しました。
- 河川・海岸施設については、柵浜・藤浜地区海岸(気仙沼市唐桑町)が復旧完了
するとともに、新たに大川(気仙沼市内の脇), 沖の田川(気仙沼市本吉町), 桜川
(南三陸町志津川), 片浜地区海岸(気仙沼市片浜), 館浜地区海岸(南三陸町歌津)
等15箇所の本格的な復旧に着手しました。
- 今後も、地権者等関係者の御協力を得ながら、用地買収を進めると
ともに本格復旧工事の進捗を図り、復旧を推進していきます。

◎箇所数ベース(平成26年3月末現在) (単位:箇所)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	125	113	92	90.4%
河川・海岸	54	38	2	70.4%
港湾関係	11	9	1	81.8%
合計	190	160	95	84.2%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

◎事業費ベース(平成26年3月末現在) (単位:億円)

	全体	事業中	着手率	
			うち完了	
道路・橋梁	103.3	26.0	8.3	25.2%
河川・海岸	1,051.8	242.5	1.3	23.1%
港湾関係	110.5	49.3	9.3	44.6%
合計	1,265.6	317.8	18.9	25.1%

※事業中には、応急工事、調査設計、用地補償を含む

※全体事業は、査定決定額としている



工事が進む災害復旧箇所

荒谷前地区海岸(気仙沼市唐桑町荒谷前地先)



【着手前】



【H26.1月現在】



【H26.3月現在進捗状況】

黒崎地区海岸(南三陸町戸倉地先)
(H26.3月現在)



【仮設道路工事状況①】



【仮設道路工事状況②】



◇気仙沼市本吉町登米沢地区防集団地の竣工式が開催されました

気仙沼市が防災集団移転促進事業で整備を進めていた登米沢地区防集団地の竣工式が開催されました。式典には、登米沢地区住民，気仙沼市職員を始め，復興庁宮城復興局及び県の関係者約60名が出席し，テープカットなどで完成を祝いました。

団地は，気仙沼市38地区の防災集団移転促進事業での造成完了第1号として，0.4ヘクタール6区画の住宅地が竣工しました。今後は住宅建築が始まります。

【本吉町登米沢地区団地竣工式】

- ・開催日：平成26年3月28日(金)
- ・場 所：現地



【関係者によるテープカット】



【完成した登米沢地区団地(一部)】

◇県道気仙沼唐桑線「東舞根復興道路」の着工式を開催しました

東日本大震災による被害を受けた舞根，浦地区において，防災集団移転促進事業として高台に宅地整備が進められており，そのアクセス道路として整備を進めている「東舞根復興道路」の着工式を開催しました。

「東舞根復興道路」は，本県三陸沿岸部における復興交付金道路事業の初の工事着工となるもので，気仙沼市長，県議会建設企業委員長，地元選出県議会議員，気仙沼市議会議長，地元関係者及び工事関係者など約70名が出席し，鍬入れ等を行い工事の安全と早期完成を祈願しました。

今後，坑口部の準備工を行い，ゴールデンウィーク頃にはトンネル掘削を開始する予定で，工事進捗を踏まえ見学会等も開催してまいります。

工事に際しては，一般車両優先，安全第一で工事を進めてまいりますので，ご理解，ご協力をお願いします。

【東舞根復興道路着工式】

- ・開催日：平成26年3月26日(水)
- ・場 所：現地



【玉串奉奠(安全・早期完成祈願)】



【菅原気仙沼市長挨拶】



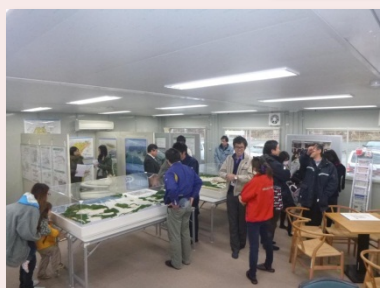
【安全・早期完成祈願の鍬入れ】

◇「南三陸復興まちづくり情報センター」が開設されました

南三陸町，UR都市機構等により，南三陸町における復興まちづくりの概要や，進捗状況を広く情報発信する施設として，「南三陸復興まちづくり情報センター」を3月20日(木)に南三陸さんさん商店街駐車場に開設しました。

今後，パネル，模型，コンピュータ・グラフィック映像等により，南三陸町における復興まちづくりの最新情報を提供して行く予定との事です。また，宮城県が進めている災害復旧事業や復興まちづくり計画に関する資料・復興パネル等も展示し，情報発信します。

◇利用時間：毎週火曜日から土曜日
 ※祝日・年末年始を除く
 10:00～16:00
 ◇場 所：南三陸さんさん商店街
 (南三陸町志津川字御前下)



【情報センター室内状況】



【県事業災害復旧工事概要説明パネル】



【東日本大震災時 活動状況説明パネル】

◇津波「波来の地」石碑を設置しました

東北地方太平洋沖地震による未曾有の大津波を後生に伝え減災に繋げるため，「3.11伝承・減災プロジェクト」として，津波浸水表示板設置等の様々な取組を行っており，その一環として，津波到達点に「波来の地」(はらいのち)と記した石碑設置を行いました。

この石碑設置は，宮城大学を中心とした同様の主旨の取り組みで，平成25年9月末迄に約130本の石碑を設置しており，まだ石碑を設置していない気仙沼市を中心に，宮城県が要請を受け設置する事としました。平成26年3月には，下表の番号3・7に設置を行っており，ほかの箇所についても，4月中に設置を完了する予定としております。

”波来の地”石碑設置一覧表(予定含む)

番号	路線名	設置場所	備考
1	大島線	気仙沼市浦の浜96-3地先	植樹帯
2	気仙沼唐桑線	気仙沼市唐桑町馬場126地先	路肩
3	気仙沼唐桑線	気仙沼市赤岩館下53地先	路肩
4	気仙沼唐桑線	気仙沼市松崎浦田51-10地先	植栽帯
5	気仙沼唐桑線	気仙沼市松崎馬場50-1地先	植栽帯
6	本吉室根線	気仙沼市本吉町津谷新明戸107地先	路肩
7	(国)346号	気仙沼市本吉町猪の鼻15-5地先	植栽帯
8	(国)398号	南三陸町志津川字小森114地先	路肩
9	志津川登米線	南三陸町入谷字大船沢地先	路肩



【番号3：県道気仙沼唐桑線
 気仙沼市赤岩館下】



【番号7：(国)346号
 気仙沼市本吉町猪ノ鼻】



◇ 大島架橋事業においてトンネル貫通など工事が進捗しています

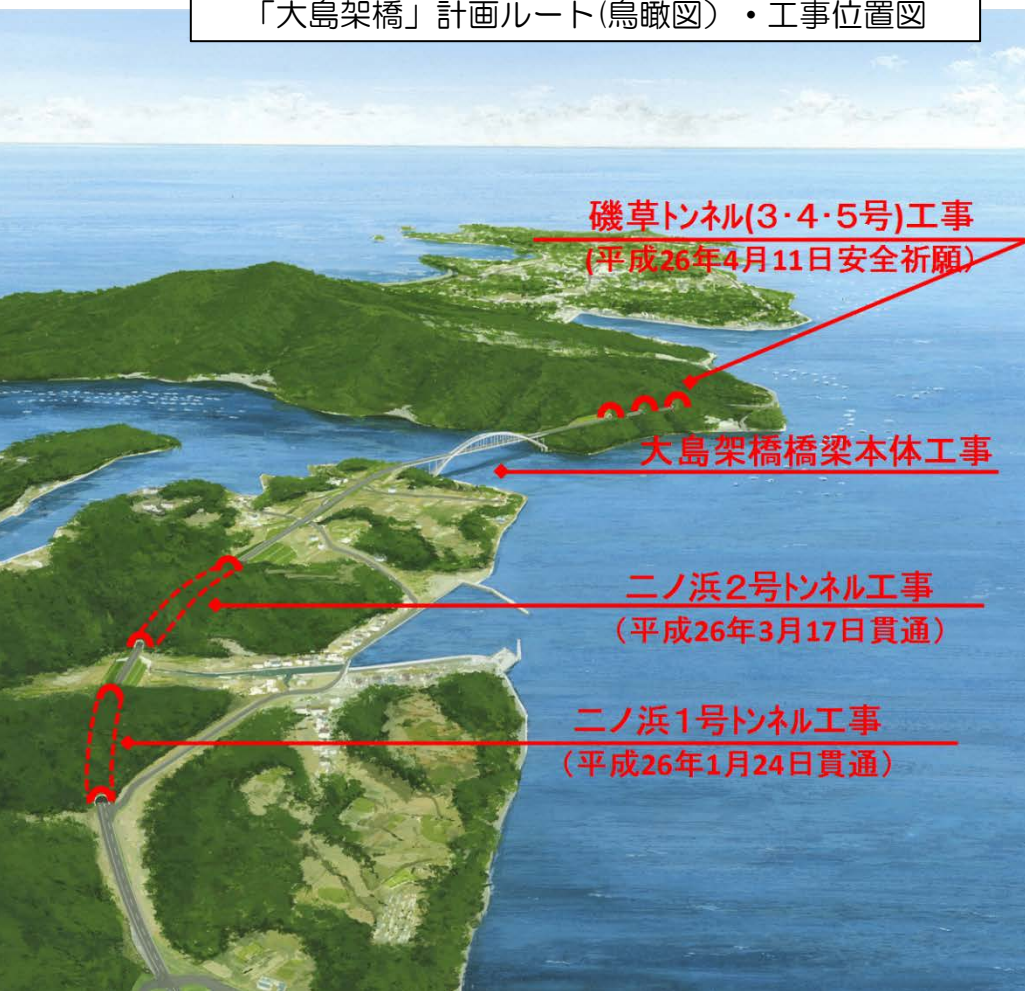
震災復興のシンボル事業である「大島架橋事業」では、大島橋梁本体、5つのトンネル工事などを鋭意進めております。

その中で、平成26年1月24日には(仮称)二ノ浜1号トンネル貫通式を開催し、3月17日には(仮称)二ノ浜2号トンネルの貫通しました。また、4月11日には、大島の現地で(仮称)磯草トンネルの安全祈願祭を行いました。

(仮称)磯草トンネルは4月中旬から本格掘削を開始し、トンネル掘削の状況を見て見学会等を行い、「大島架橋事業」の進捗を実感して頂きます。

工事中はダンプトラックの通行等お騒がせする事もあると思いますが、引き続き、一般車両優先、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

「大島架橋」計画ルート(鳥瞰図)・工事位置図



復興実感年



復興の花を
咲かせよう
宮城県土木部

宮城県気仙沼土木事務所 企画担当チーム

TEL: 0226-22-2622

E-mail: ksdbk@pref.miyagi.jp

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>

※お気付きの点やご意見などがありましたら、何なりとご連絡下さい。

※今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。